

感染症

県中地域感染症発生動向調査週報(2025年第6週)

(令和7年2月3日～令和7年2月9日)

令和7年2月13日

定点報告(上段:定点当り/下段:報告数)

区分	疾病名	2025年					2024年	2023年
		3週	4週	5週	6週	合計	合計	合計
定点報告	インフルエンザ	15.67	10.44	2.11	1.56	-	-	-
		141	94	19	14	778	2,570	3,223
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	8.00	8.89	7.89	6.56	-	-	-
		72	80	71	59	433	2,596	1,698
	RSウイルス感染症	-	-	0.20	0.40	-	-	-
		0	0	1	2	4	104	110
	咽頭結膜熱	-	0.20	0.20	-	-	-	-
		0	1	1	0	3	104	37
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.80	1.40	3.00	1.60	-	-	-
		4	7	15	8	38	240	176
	感染性胃腸炎	1.80	4.00	3.40	5.00	-	-	-
		9	20	17	25	77	696	1,023
	水痘	-	0.40	0.40	-	-	-	-
		2	2	2	0	6	29	28
	手足口病	-	-	-	-	-	-	-
	2	0	0	0	2	973	132	
伝染性紅斑	4.40	7.40	3.80	4.60	-	-	-	
	22	37	19	23	113	43	3	
突発性発しん	-	0.20	0.20	0.60	-	-	-	
	0	1	1	3	7	81	100	
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	28	188	
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	4	2	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	0	1	
流行性角結膜炎	2.00	-	-	-	-	-	-	
	2	0	0	0	5	6	9	
全数報告	結核	0	0	0	2	3	8	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	1	1	0

出典:福島県感染症発生動向調査週報(I DWR)より県中地域分を抜粋しています。

県中地域の流行状況

流行中	インフルエンザ、伝染性紅斑 《警報》
増加傾向	感染性胃腸炎

【伝染性紅斑について】

流行が続いています。ヒトパルボウイルスB19に感染することで起こる病気で、小児を中心に流行します。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手を介した接触感染です。約10日間の潜伏期間の後、両ほほに紅い発疹、体や手足に網目状の発疹が現れ、1週間程度で消失します。発疹が出現する7-10日前に風邪症状がみられることが多く、この時期にウイルスが多く排出されます。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。妊娠中に感染した場合、胎児水腫や流産を生じる場合があります。

通称「りんご病」



基本的な感染対策をお願いします



手洗い + 手指消毒

場面に応じたマスクの着用
や咳エチケット

定期的な換気

体調不良時は無理せず休む